

○近年の研究例

- 「幼児の音楽行動から構築される「音楽の場」―「歌い手」と「聴き手」の相互のかかわりを中心に―」
「鉄道駅の発車メロディが喚起する関係性の研究 ―聴取実践とサウンドスケープ論を手掛かりに―」
「ヨアヒム・ラフ（1822-1882）の組曲研究」
「日本音楽の海外公演における「仲介者」（Vermittler）の役割
―ドイツ語圏でのハインツ=ディーター・レーゼ Heinz-Dieter Reese の実践―」
「オペラ歌手ポリヌ・ヴィアルド=ガルシア（1821-1910）の活動とガルシア家
―パリ・イタリア座デビューに至る足跡を中心に―」
「長崎の「ぶらぶら節」研究 ―昭和初期にレコード化した2人の芸妓から現代への音楽的伝承―」

○キャリアパス

〈博士後期課程修了の場合〉（博士後期課程進学後）

- ・ 本学助手 → 国立大学助教授（音楽学） → 博士号取得 → 私立大学教授
- ・ 博士号取得 → 私立大学助教授（音楽学・ピアノ） → 国立大学准教授
- ・ 本学助手 → 博士号取得 → 国立大学教授（音楽学）